

9年間で育てる～育っています！

10月19日（金）、豊後大野市立朝地小学校・朝地中学校が、研究テーマを、「9年間の子どもの育ちを支える教育課程の編成と学習指導の展開」と位置付け、平成29・30年度指定の「教育課程研究指定校事業『校種間連携』研究発表会」を開催しました。これは、国立教育政策研究所教育課程研究センターが指定した研究です。文部科学省の指定でもあります。

研究の中心は、「伝え合う力」を核とした言語活動を取り入れた授業づくりで、各学年の実態に応じた授業が行われました。公開授業では4つの授業が展開され、どの授業も見応えのある素晴らしい内容でした。教師と児童・生徒が良い距離で、子どもたちひとり一人の学びに向かう姿に、研究の成果を見ることができました。

とりわけ、小学6年生と中学2年生が合同で行った総合的な学習の授業は、画期的な取り組みでした。連携型小・中一貫教育の成果だとも言えます。



豊後大野市は、平成25年度から「連携型小・中一貫教育」をすすめています。これは、各町に在る小学校1校と中学校1校が、同じ教育目標で9年間を見通して子どもたちを育てていく豊後大野市独自の教育システムです。

子育ての視点から、小・中学校が同じ歩調で指導していくことはとても重要です。これからも、9年間の連続性を大切に、前進してほしいと願っています。

